



# 日和山

新潟市立日和山小学校  
学校便り 第86号  
令和5年2月24日

## 「あったか言葉」でいっぱい

教 頭 藤塚 静治

盛り上がった全校長なわ記録会は、1か月も前のこと。つい先日の出来事のように。記録会はクローバー班（1～6年生の異学年構成）で挑戦しました。練習があったある日、ある班のある子どもが「なわとび、苦手なんだ」と私につぶやきました。でも、「いいね」「頑張ったよ」「もう少し」といった「あったか言葉」が交わされる班の中で頑張っていました。



私が小学校5年生に進級する頃、地元スポーツ店の募集で構成された小学生運動チームに入られました。入ってみると、同じ学年の友達は3年生の頃から始めています。すでに置き去り感覚です。内容は、野球や室内運動などでしたが、一番つらかったのは、マラソンです。毎年、新潟新津間を走るイベントがあり、その距離感から恐らく恐怖感と拒否感が生じ、練習時には腹痛が起きました。完全に苦手な運動となりました。

冬にはアルペンスキーが行われました。とはいっても、練習場所は地元ゴルフコースの斜面。当然、歩いて登っては滑り降りることの繰り返しです。完全初心者の私は、幸い、一から教えてもらいました。安全な停止や斜滑降をするだけで、コーチが「うまくできていて、いいね」「センスがある」と認めてくれました。前向きに頑張れてボーゲンができるようになりました。

その後、ゴルフ場斜面でチーム内スキー大会がありました。学年内の優勝候補は、友達Kです。パラレルターンができるKは好記録でゴールし、歓声がスタート地点まで聞こえました。いよいよ私の番です。直前に旗門位置を確認すると、コース後半は直滑降で進めると分かりました。ぐんぐん速くなるスピードに耐えてゴールすると、なんとKの記録を上回りました。優勝賞品の防水スプレーを受け取ったときの幸せなことといったらありません。なぜかという、ゴール直後に、Kや同学年の友達、運動バリバリの6年生から、「すごい」と言葉を掛けられたからです。

再びマラソンの季節が訪れ、市民大会3kmに出場することになりました。腹痛は無くなりました。体育の時間、持久走の学習でグラウンド15周（3km）を走ることになりました。希望者は学級で運動抜群の友達Nと私の二人。結果、Nから周回遅れのゴールでした。しかし、みんなから「頑張れ」の声が周回数分と、ゴールした二人を囲んで「すごい、頑張った」と騒がれ、Nが肩を組んできて一緒に玄関まで歩いたこと。よく覚えています。

腹痛を覚える不得手なことも、様々な場面で「あったか言葉」をもらったことで取り組めるようになりました。冒頭紹介したあの子ども「あったか言葉」で頑張り、班は練習開始から記録を39回も伸ばしました。練習時に前回の記録を超えた瞬間がありましたが、その時に生まれた一人一人が喜びいっぱいの笑顔で拍手し合う姿が今でも印象に残っています。



「あったか言葉」でいっぱいになるよう、みんなで温かく過ごしていきたいものです。

## 健やかな体づくりを目指して

体育部

体育部では、「運動の目標をもたせる環境・授業づくり」を重点として、昨年度と同様に、体力テストの結果から、課題となっていた走力に焦点を当てて、取り組んできました。

昨年度の体力テスト50m走の全国平均を超えることを目標に、日々の体育の授業の中で、基礎的な走力を高める動きを取り入れてきました。6月の計測時より10月の計測時の方が良いタイムとなった子どもが多く、自分の記録の伸びを喜んでいる様子がたくさん見られました。結果として、昨年度の体力テスト50m走の全国平均値を上回ることができた児童数が大幅に増えました。今年度は、持久走記録会や全校長なわ記録会に向けた練習にも熱心に取り組み、脚力がついてきたように感じています。

さらに、元気アップ週間では、体育委員会がタブレット端末を活用して、家でもできる運動の動画を作成、紹介をし、自宅でも運動に親しめるようにしました。自分から積極的に運動をする習慣を身に付けてほしいと願っています。今後も、学校でも家庭でも子どもたちが健やかな体づくりを目指して運動に取り組んでいけるよう、家庭と学校が一緒になって声を掛けていきましょう。



## 個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成しています

特別支援部 佐藤 素之

特別支援部では、気になる児童一人一人に適切な支援を行うために「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成しています。2つの計画は、次のようなものです。

これらの計画書を作成することで、今後も子どもたちに適切な支援を心がけていきます。

### ○「個別の教育支援計画」

障がいのある児童生徒のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて保護者をはじめとして教育、医療、福祉、労働等の関係諸機関が連携して教育的支援を行うための計画書

### ○「個別の指導計画」

児童生徒の実態に応じて適切な指導を行うために学校園で作成されるもので、教育課程を具体化し、一人一人の指導目標・内容・方法を明確にし、きめ細かく指導するための計画書